

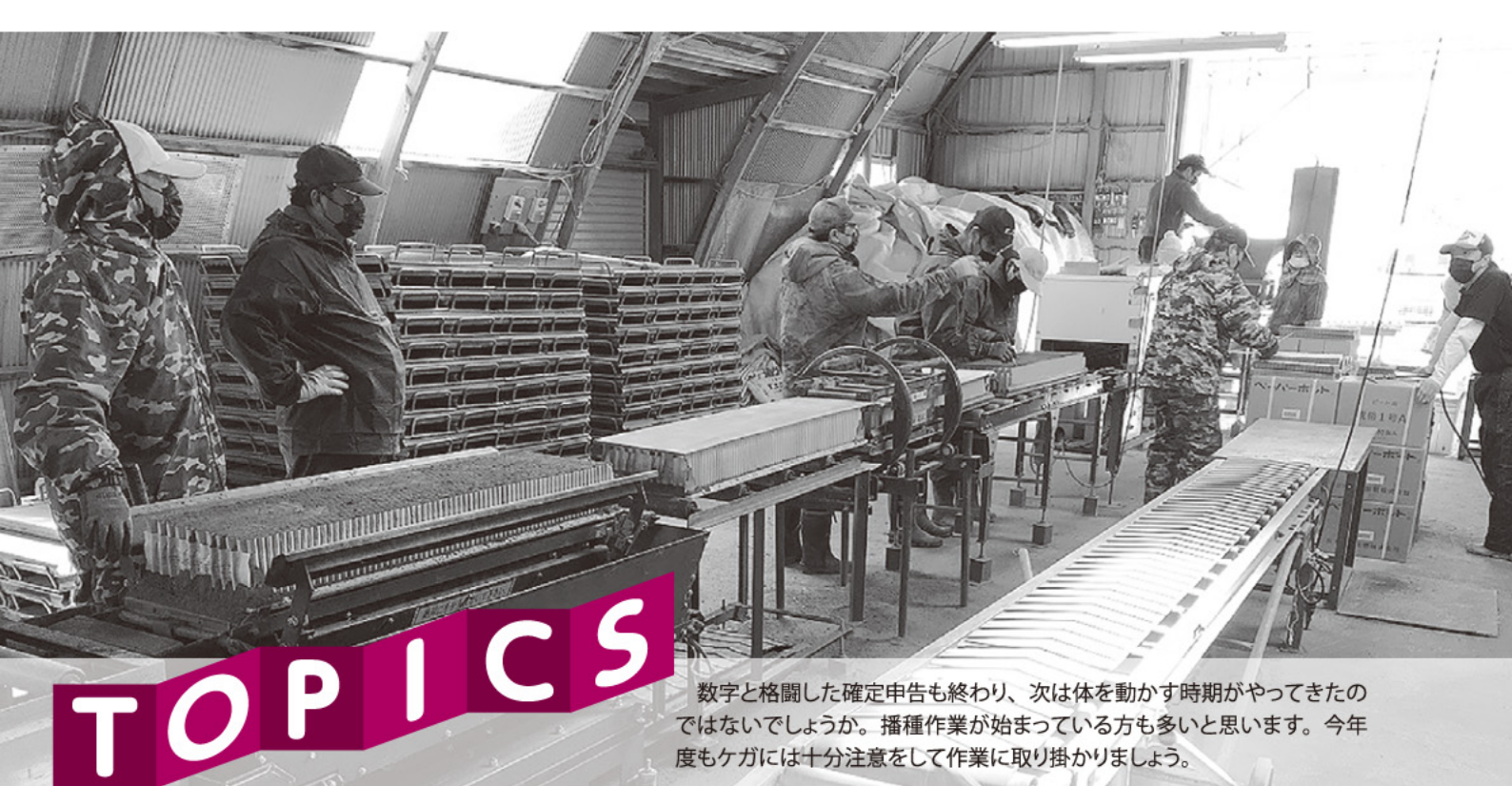
・人 広報



主な
話題

伊達市スマート農業協議会視察研修
JA女性部 手縫い雑巾制作
JA青年部 定期総会
年金友の会 定期総会・湯治 その他

3月号
NO.677



数字と格闘した確定申告も終わり、次は体を動かす時期がやってきたのではないのでしょうか。播種作業が始まっている方も多いと思います。今年度もケガには十分注意をして作業に取り掛かりましょう。

■ 伊達市スマート農業 協議会視察研修

伊達市スマート農業協議会では2月7日(水)～8日(木)に北見方面にて視察研修を実施しました。

参加したのは会員、関係機関合わせて8名で音更町の三菱農機販売帯広営業所、陸別町の下浦農場、佐呂間町の大槻産業、湧別町の三菱農機販売で行われていた農機具展示会を視察しました。

三菱農機販売帯広営業所では、シードセンサーのデモ操作やガリレオタイヤの性能について説明を受けたほか、ホクレンRTKシステムについての意見交換も行われました。

甜菜や麦など560haを展開する下浦農場では、地域農家と協同して地域輪作を展開し作業効率を大幅に改善することを目的とした「トランスボーダーファーマーミング」に取り組んでおり、地域でこの取組を行うメリット・デメリット、今後

の展望などの説明を受けました。

参加した会員は「最新の農機やそれらを取り入れたスマート農業の取組みについて知ることができとても有意義な視察になった。」と話していました。



ガリレオタイヤを囲んでの集合写真



説明をうけるようす



展示会のようす

■ 栽培講習会

1月下旬から令和6年度の栽培に向けての各種栽培講習会が続々と行われています。

普及センターをはじめとする関係機関や生産

者が参加し、品種ごとの栽培上の注意点や新品種による試験結果の報告、防除体系例の提案や病害虫の発生状況と対策などが説明され、今年度の作付に向けての準備が順調に進められています。



カリブロ講習会のようす



てん菜講習会のようす

JA女性部



■ 手縫い雑巾制作

2月5日(月)、JA伊達市女性部ホビークラブは毎年伊達市教育委員会を通じ市内の小中学校へ寄贈している雑巾の制作を行いました。この日は部員8名が参加し、一枚一枚丁寧に手縫いで雑巾を仕上げていきました。

女性部ではこの活動に必要な、不要となったフェイスタオルや古布、または手縫いの雑巾その物の提供をお願いしています。地域貢献活動として賛同していただき、市内の学びの場へ暖かいお気持ちと共に届けるべく、ご協力をお願い致し

ます。

詳しくはJA伊達市営農指導課女性部事務局までお問い合わせください。



雑巾を縫うようす

■ 営農計画書書き方講習会

2月6日(火)、JA伊達市本所において営農計画書の書き方講習会が開催され、約15名が参加しました。

講習会では営農計画書の書き方についてはもちろん、畜産物・畑作物・野菜の参考単価等や肥料・農薬等の参考単価について各部署より説明がありました。

営農計画書はクミカン利用及び未収取引による資金供給の認定に必要なほか、自身の1年間の営農を家族で相談し情報を共有する為に必要となります。ご家族でじっくり話し合い今年度の営農をよりよいものにしていきましょう。



講習会のようす



■ 伊達市農協青年部定期総会

2月6日(火)、第69回伊達市農協青年部定期総会がJA伊達市本所にて行われました。

令和5年度の事業報告並びに収支報告、令和6年度の事業計画及び収支予算案が可決されました。

さらに役員改選が行われ新体制となりました。

部 長	栗橋 勝利 (新任)
副 部 長	佐藤 俊史 (新任)
理 事	大和田康太 (留任)
理 事	松本 翔太 (新任)

理 事	舟迫 徹 (留任)
理 事	若松 航洋 (留任)
代表監事	坂元 博行 (留任)
監 事	広瀬 将大 (新任)



総会の様子

■ 小麦・豆・馬鈴薯採種組合 合同総会

2月20日(火)、伊達市小麦・豆・馬鈴薯採種組合の合同総会をJA伊達市本所で行いました。

令和5年度の事業報告並びに収支決算や令和6年度の事業計画及び収支予算が示され全て可決しました。

各採種組合は会員が限定されていることから合同での総会となっており、令和6年度は栽培技術向上を目的とした講習会の開催や病害虫の適期防除の確立、共同選別による規格統一など採取組合全体での底上げを図る方針です。



総会の様子



■ 年金友の会定期総会・湯治

2月20日(火)、伊達市農協年金友の会定期総会及び湯治が洞爺サンパレスで行われました。

総会では令和5年度事業報告並びに決算報告、令和6年度事業計画及び収支予算が可決されました。さらに役員改選が行われ、新体制となりました。

会 長	矢元 和良 (新任)
副会長	高野ヒサ子 (留任)
副会長	杓名 好明 (新任)
理 事	高橋 廣 (留任)

理 事	篠原 裕治 (新任)
理 事	長谷川 貞子 (新任)
理 事	市川 洋子 (留任)
監 事	森 悟 (留任)
監 事	丹野 征之 (新任)



総会のようす

令和5年度地区別組合員懇談会における 主な質問・意見に対する回答について

1月9日～13日に渡り9地区（8回）で行われた懇談会ではお忙しいところ、79名の組合員の方々にご出席頂きまして誠にありがとうございました。皆様から頂きました質問・意見に対しましての回答を要約してお伝え致します。

今回皆様から頂きました貴重なご意見を踏まえ、ご期待に応えるべく事業推進に努めてまいりますので、今後とも建設的なご意見を賜りますよう宜しくお願い致します。

伊達市農業協同組合

■ 共通・その他

Q1. 令和6年度から増資について検討することのことが、増資サイクルが早く感じられる。自分たちの世代で後継者がいない状況では雪崩的に減っていくと思う。これからの今後の増資計画において、組合員が素直に対応するかどうか。

自己資本の造成に関しては、5億を切るこの影響だけでなく、農協の事業展開として組合員に理解されるような説明と情報発信が必要ではないか。

また、組合員の減少に伴い、残った組合員で出資金を保持していく事はわかるが、個々に対しての平均出資額や近隣JAの出資額の提示などわかりやすい提案と説明が重要ではないか。

A1. 増資の実施については、総代会・理事会の判断となります。

現在当組合は6億円ですが、高齢化から大きく減少することが予想されます。出資が5億円も切ると自己資本比率が下がり信用事業に影響することから自己資本比率を高めることは将来にわたって課題となりますので、どのような形がよいか組合員の皆さんと検討をすすめていかなければならない状況にあります。

また、出資金減額による自己資本比率低下の信用事業の影響や組合員個々の平均出資額と近隣JAの出資額などお示し、組合員へ情報提供を行ってまいります

Q2. 農家も農協も厳しい状況だが、これを良くするのも人なので、農協職員の人材確保と

引き抜きが行われないようにある程度給料を見ていただきたい。

また、優秀な人材確保と若い人が入ってこれる様な職場にしていきたい。

A2. 財務状況を考慮しながら給与・休日体系の見直しの他、新卒採用や中途採用の募集方法についても検討改善し、人材確保に努めます。

Q3. 第9次計画の中で職員人数の経過（推移）を出してほしい。10年後農協がどうなるのかとても心配。

募集して採用出来ていない分析はしているのか、大手企業の募集方法などを分析してみてもは。採用が出来ていないと農協を充てにできなくなる。

A3. 第9次中期経営計画の中で職員推移をお示しいたします。

採用に関する分析については、中央会・就職サイトメーカーと分析をし、採用方法の改善を進めて参ります。

■ 営農生産部

Q1. 第9次計画で説明されたが、全てに関わってくることが人手不足だと思う。

具体的にどうしていかなければならないのか。ヘルパーの様な専門で一人が抜けたとき、すぐに補充は厳しいのではいか。今後人口減少となるが予想でなく現実。それが農業だと牛乳・肉にしても縮小になる。

A1. ハローワークや人材派遣会社に要請しても人員確保は困難となっており、時給を上げる

のにも限界があると思いますので、内部で協議し情報を整理しつつ対応してまいります。

Q2. 3年後には組合員減少と高齢化し、出資金について将来危ぶまれる状況。

組合員・組合のために今後どのような対策が必要と思うか。

A2. 将来の組合員が営農継続できる対策として、現在は労働力不足対策が課題と考えますので人員確保を優先に努めてまいります。

Q3. JAコネクトを活用して野菜相場表等をもっと発信してほしい。

A3. 本年3月に希望者の意向調査を行い、その結果をもって判断してまいります。

Q4. さつまいもについて値段を下げてでもまずは販路拡大をしてほしい。

A4. 現在は粗原にてホクレンに全量出荷になっていますが、生食や加工などを視野に組合員の所得向上を目指すとともに販路拡大を目指してまいります。

Q5. トマトを出荷した時、返品が多い。返品の利用について考えてほしい。

A5. 昨年度は、猛暑影響からイタミ等が多く見受けられました。

市場評価を考え品質面での検査を行っていますので、返品が多い場合はトマト部会と協議してまいります。

Q6. さつまいもは、今後伸ばしていくのか。

A6. 将来目標面積を100haとしていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

Q7. 部会の中で話が出たが、青果部門の臨時でも契約でもパートでも8月の一ヶ月間、人員を増やしてほしい。

選果等の施設内の人員確保を要望したい。

A7. 本年度は、人材派遣会社より季節雇用者を要請するなど検討していただいております、増員に努めております。

また、准組合員へ稼働者希望の推進を行うなど雇用確保に向けた対策を進めて参ります。

■ 購 買 部

Q1. マーケット赤字について、ホクレンとの協同運営や閉鎖するにも厳しく困った問題。やめてほしくないですし、どうしたよくなるのか。

A1. 生活事業については長年赤字が続いており、ホクレンとの協同運営に向けたシミュレーションを実施しましたが、多額の投資が必要な事とその投資をふまえても収支は赤字であったため当面は自主運営をして行く経営判断をしています。

また、正組合員のクーポン利用率は35%ですが、3カ年で50%を目指してまいります。

Q2. マーケット割引券について、紙でなくキャッシュレスの時代なのだから、ポイントカードを活用してできる方法を考えてほしい。

A2. 新しいセミセルフレジを導入時に現在利用されているキャッシュレス決済（クレジット・電子マネー・電子クーポン等）が利用できるように対応しております。

割引券のポイントカード活用化については、現在のポイントカードではできないですが、活用方法についてランニングコストをふまえ検討いたします。

Q3. マーケットについて、仕入れの種類を増やしたり面白いもの売ったほうが良いのでは。

A3. 商品については売れ筋の商品に年2回改廃を実施しております。

令和5年6月から10月まで毎月第2土曜日にキッチンカーを呼ぶ企画など取組んでいますので、ぜひご来店しお買い上げして下さい。

Q4. マーケットの赤字が続いている中で、古いものを入れ替えればランニングコストが良くなるというのが黒字なるといわない。

黒字にならないことを続けて何のメリットがあるのか、説明してほしい。

A4. 生活事業に関してはホクレンとの協同運営の実施の他、生活事業を閉鎖した場合のJA全体の収支シミュレーションも算出しております。

結果はJA全体の収支は赤字となる他にも清算費用についても多額の費用が発生し、積立金の取り崩しによる自己資本比率の低下も招くため、当面は収支改善に注力し自主運営をして行くことと判断しております。

農業者年金の3つの税制優遇

**農業者年金は
税の軽減の立役者です！**

年金積立
しながら
税軽減



ポイント1 支払った保険料は **全額社会保険料控除の対象！**

ポイント2 **運用益は非課税！**

ポイント3 将来年金として受け取る際も **大きな控除！**

詳しくは… <https://www.nounen.go.jp>





令和6年度
第11回理事会

▶第11回理事会…令和6年2月19日(月)

- 第1号 購買部生活課固定資産取得について
- 第2号 決算棚卸日程等について
- 第3号 決算監査日程について

▶第12回理事会…令和6年2月28日(水)

- 第1号 JA伊達市特別条件緩和資金措置対象組合員等の経営継続について
- 第2号 JA伊達市特別条件緩和資金措置対象組合員への新規貸付について
- 第3号 譲渡(家畜)担保評価・頭数の設定基準について
- 第4号 参事の選任の件について
- 第5号 令和6年度事業計画の一部変更及び早期警戒制度適用による5ヶ年シミュレーションについて
- 第6号 地区別組合員懇談会の意見質問に対する回答について
- 第7号 令和6年度役員報酬審議委員の委嘱について
- 第8号 令和6年度役員報酬の諮問について
- 第9号 令和6年度監事監査計画案について
- 第10号 令和6年度内部監査計画案について
- 第11号 令和6年度経営定期点検実施計画案について
- 第12号 令和6年度コンプライアンスプログラムについて
- 第13号 職員就業規則及び準職員就業規則の一部改正について
- 第14号 令和7年度新規採用職員採用(案)について
- 第15号 SDGs取組方針の策定について
- 第16号 出資金の持分譲渡について



未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業

「伊達地区」 Vol.77

令和5年度

第1回 伊達地区国営緊急農地 再編整備事業推進協議会

2月27日(火)、伊達市長、JA伊達市組合長、伊達市農業委員会会長、伊達土地改良区理事長、胆振農業改良普及センター所長、期成会長が一堂に会する「推進協議会」を開催しました。

今回の推進協議会では「令和5年度の取組状況」と「設計・工事の進捗状況」について報告を行いました。

内容については、国営事業に関係する所有者・耕作者へ発行している「国営事業だより」にて改めてお知らせすることを予定しています。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農

地再編整備事業促進期成会事務局
(伊達市 経済環境部 農地整備課内)
TEL0142-82-6161 (直通)

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL 0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

